



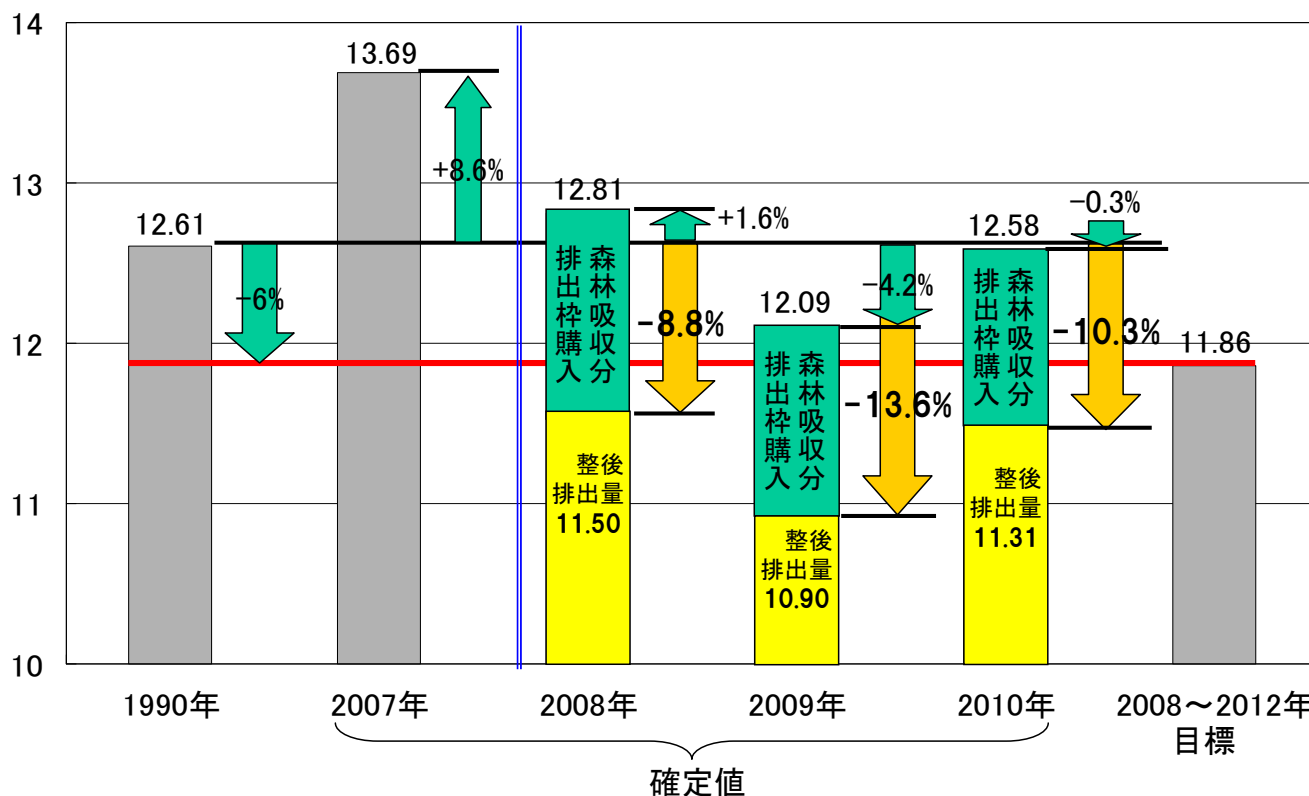
国内クレジットを活用した カーボンオフセット

環境経済株式会社

2012年7月 Copyright © 環境経済(株)

日本の置かれている立場

億t-CO₂ 京都議定書における1990年度比-6%の温室効果ガス排出量の削減



排出枠には日本国の購入と電力購入分が含まれる

各種CO2削減クレジットの用途

	京都議定書目標達成計画	統合市場 (試行スキーム)	温対法		省エネ法	東京都	RPS	CSR、 カーボン オフセット
			自社排出分	電力排出 係数への 反映 *1				
京都クレジット	○	○	○	○	×	×	×	○
国内クレジット	省エネ事業	○	○	○	○	×	×	○
	その他	○	○	○	×	×	×	○
J-VER	×	×	○	○	×	×	×	○
グリーン電力証書	×	×	×	×	×	○ *2	×	○
新エネ等電気相当量	×	×	×	×	×	○	○	○

*1 2011年度より、国内クレジットが京都クレジットと同様電力排出係数への反映が可能

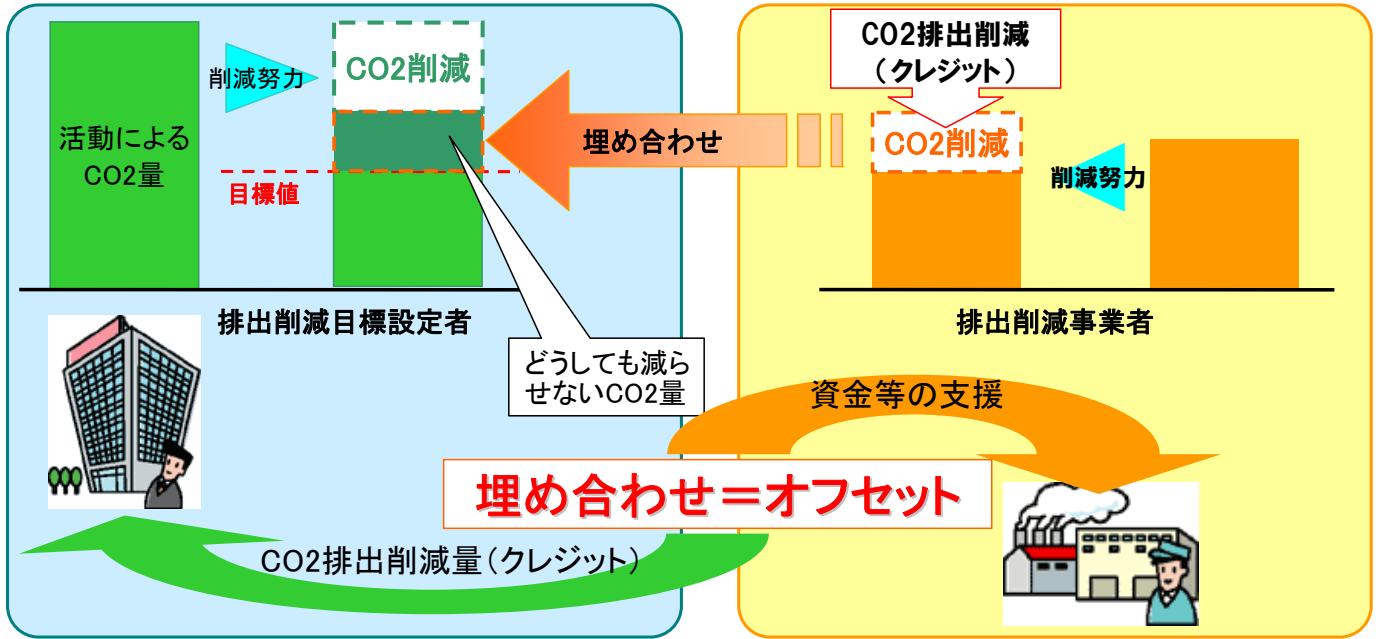
*2 再生可能エネルギー全量買い上げ制度が施行されると利用不可となると思われる

国内クレジットとJ-VER

	国内クレジット制度	J-VER
根拠	閣議決定	我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について(指針) 環境省
使用目的	京都議定書目標達成計画 カーボンオフセット	カーボンオフセット
温対法	2010年度より削減量が充当可能	2010年度より削減量が充当可能
省エネ法	共同省エネルギー事業として利用可能	利用不可
排出削減事業者	自主行動計画を設定していない事業者 (中小企業等)	すべての事業者、地方公共団体など 制限なし
購入企業	自主行動計画に参加している企業および 特に定めた仲介者(大企業等)	すべての事業者、地方公共団体など 制限なし
ドキュメント作成	参加事業者もしくはソフト支援実施機関	参加事業者
ドキュメント作成費用	ソフト支援事業で全額支援	参加事業者負担(支援策あり)
申請費用	無料	参加事業者負担(支援策あり)
審査費用	一定額まで支援あり	参加事業者負担(支援策あり)
売却方法	申請時に売却先決定	排出削減事業者などが探す
会計処理(購入後)	償却時損金扱い可能	未定(広告宣伝費、寄付行為)
2013年以降	統合予定	

カーボンオフセットとは

自分の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部または一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)することです。

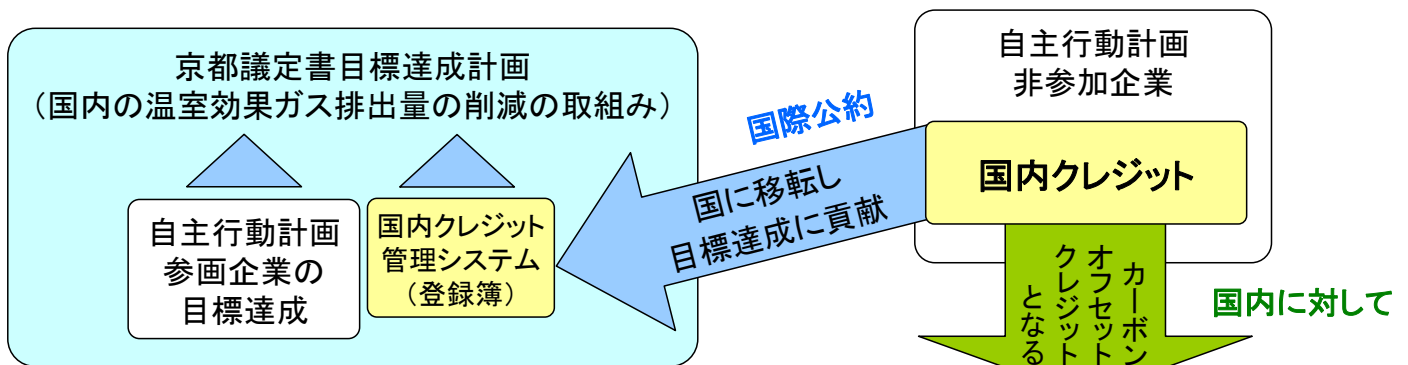


環境省のカーボン・オフセットの定義

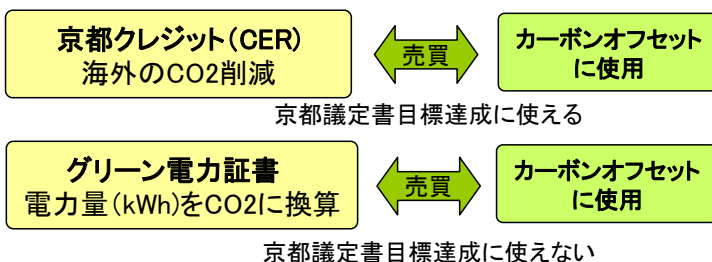
市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、削減努力を行い、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入する又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施する等により、その排出量の全部または一部を埋め合わせることで。

国内クレジット制度を使用したカーボンオフセット

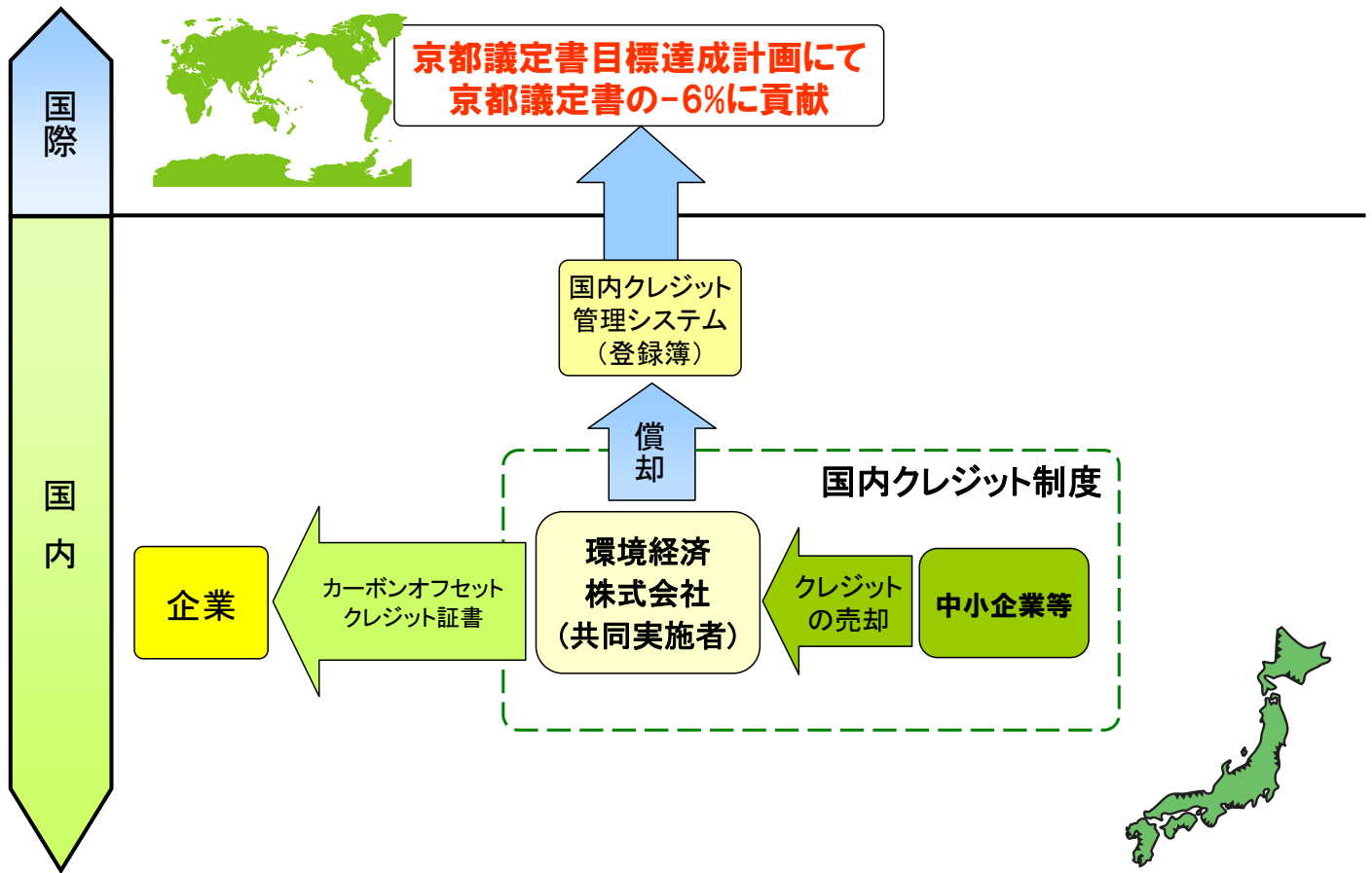
国内でカーボンオフセットクレジットとして利用ができ、さらに国際公約の京都議定書の-6%目標達成に貢献したとみなされます。国内クレジットのカーボンオフセットクレジットは発行時に、国に移転(償却)するためダブルカウント(二重使用)になりません。



◆ 国内クレジットを以外のカーボンオフセットの例



国内クレジット制度を使用したカーボンオフセット



2. 国内クレジット制度を使用したカーボンオフセット

メリット

- ▶ CO2削減の実施者の顔が見える (CO2削減クレジットの産地直送)
- ▶ CO2削減した地域が選べる (CO2削減クレジットの地産地消)
- ▶ クレジットの購入代金は中小企業等のCO2削減資金となる
- ▶ 国内の中小企業等の省エネを推進する。
- ▶ 中小企業等のエネルギーコストが削減され、製品、生産品の価格安定につながる
- ▶ クレジットを国が用意する管理システムで償却(国への移転)するため、京都議定書目標達成計画で定められた削減目標に貢献できる。(京都クレジット<CER>と同等の扱い)

△△工場のクレジット
△△県産クレジット



【活用例】

- ▶ 国内クレジット制度における中小企業、農業生産者などのCO2排出削減事業から創出される国内クレジットを市民にカーボンオフセットクレジットとして購入してもらい、間接的な生産者などの支援に役立たせる。
- ▶ 国内クレジット制度のクレジットは、国に移転することで国の目標達成に直接貢献する

国内クレジット制度における環境経済株の取り組み

環境経済株式会社では、中小企業における省エネサポート、及びカーボンオフセットの見せる化(戦略的広告)を実践し、国内のCO2削減に貢献しています。

①国内クレジットの仲介

自主行動計画に参加している企業が、自らの目標達成に使用する場合、数量が少ないクレジットを複数購入する手間を省くため、ご要望に合わせた数量に合わせ取りまとめます。



②イベントなどのカーボンオフセット

企業、商店、学校(修学旅行など)、各種イベントなどのカーボンオフセットに国内クレジットを利用し、イベントで使用されたエネルギー量を理解することができます。身近なものをカーボンオフセットすることで、社内、学校内での環境教育につながることもできます。

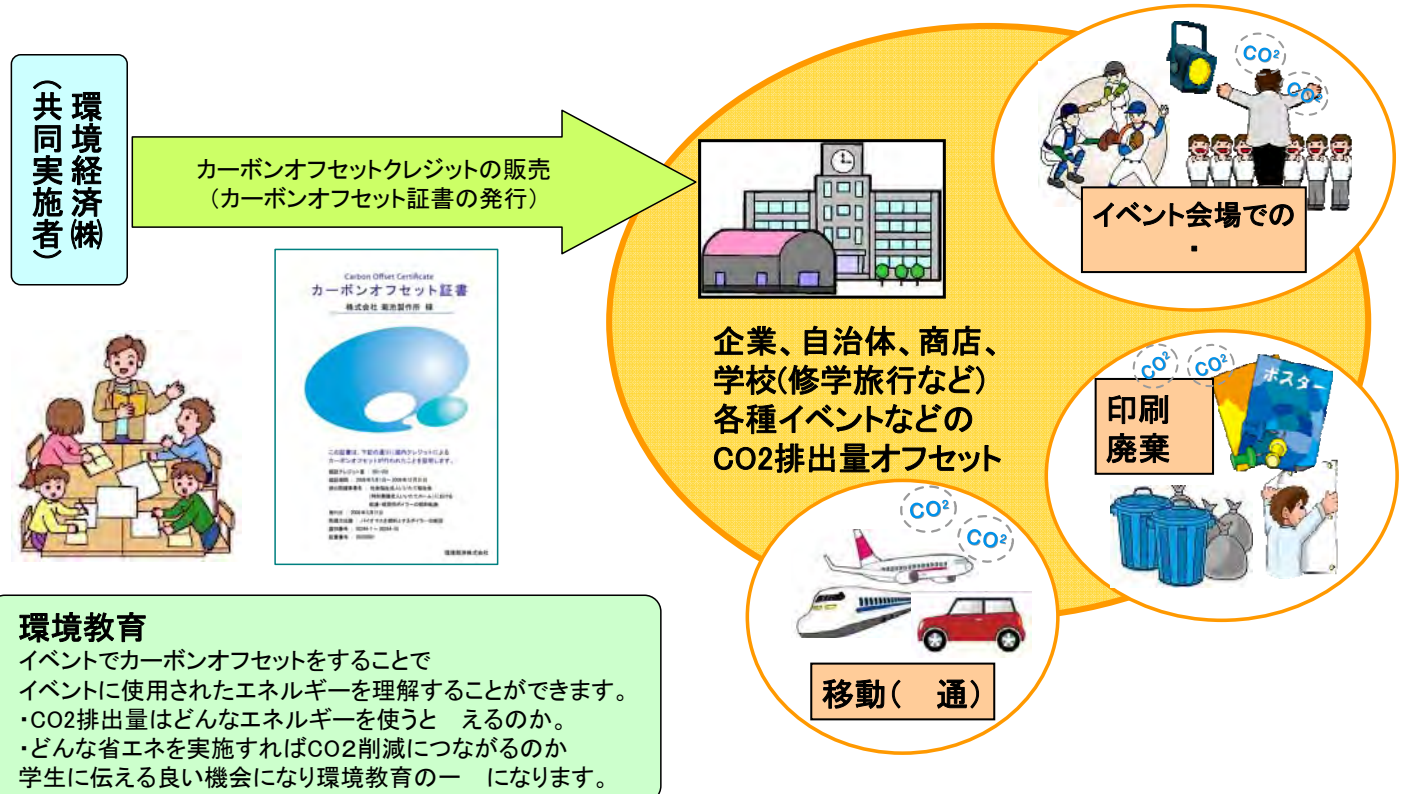
③商品のカーボンオフセット

商品の製造及び流通過程で発生するCO2をゼロにするためカーボンオフセットクレジットを使用します。商品にカーボンオフセットラベル(環境価値)を貼付し差別化を図ります。



イベントなどのカーボンオフセット

各種イベントなどで発生するCO2をカーボンオフセットします。学生向けのイベントで実施すれば、学校・学生に対する環境教育にもつながります。



商品のカーボンオフセット〈カーボンオフセットの見える化〉

カーボンオフセットラベル等を用いてCO2排出量の流れを見せる化し、消費者にエネルギー流れやCO2削減を実感できるシステムを提供します。

エネルギーを見せる化することで商品の差別化を図ることができ、更にクレジット創出先のPRIにもなります。

■4つのポイント

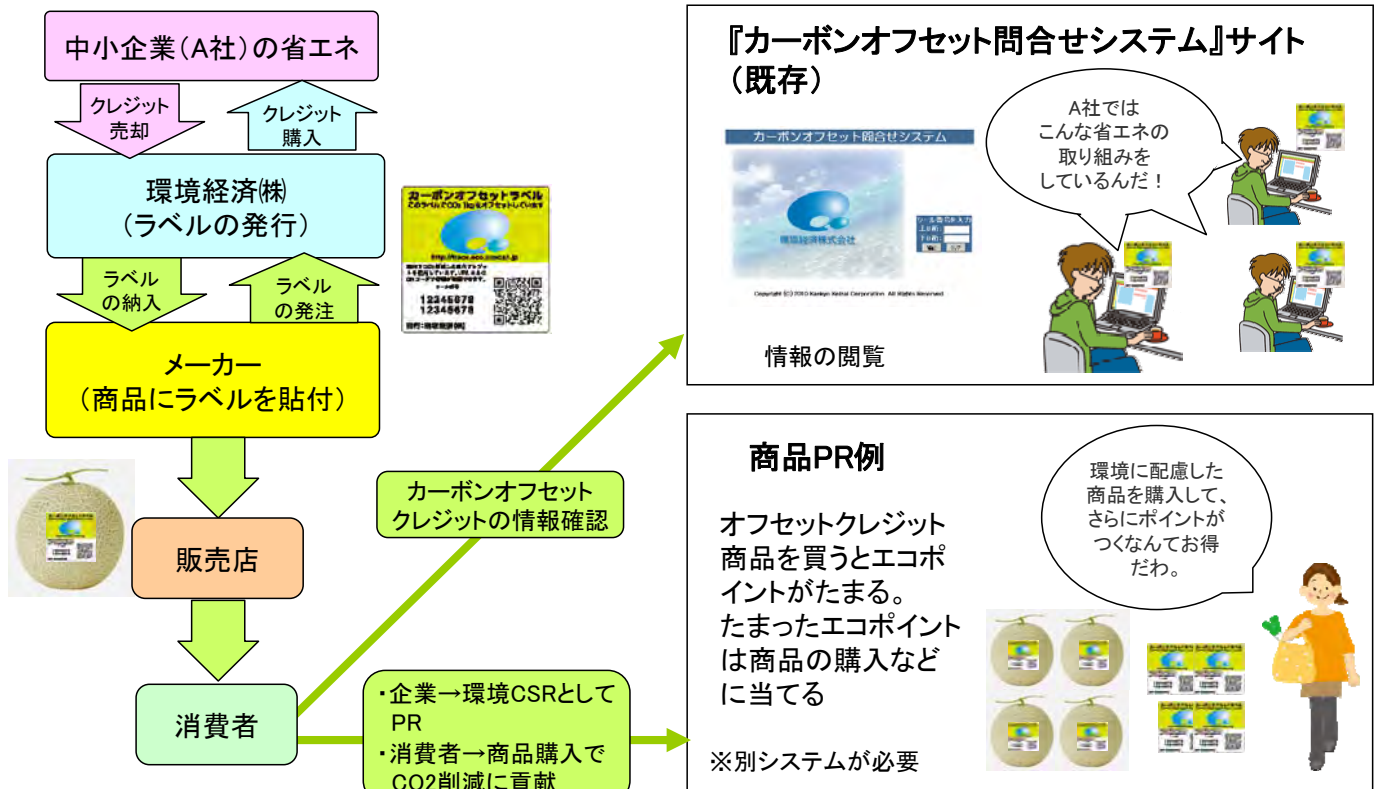


<p>オリジナルラベル</p> <p>トレーサビリティと情報開示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレジットのシリアル番号明記 ・クレジット情報のQRコード → クレジット対象の排出削減事業情報にアクセス可能 	<p>第三者検証</p> <p>信頼性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラベルの在庫管理、棄損チェック、売上との整合を確認
<p>クレジットの購入メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の差別化 (CO2フリー) ・企業のイメージアップ (CSR、SRIなど) ・日本のCO2排出削減に貢献 	<p>地域還元</p> <p>地域連携、支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域企業の省エネ、CO2削減の国内クレジットを活用 ・地域企業の省エネ活動のPR



商品のカーボンオフセット〈カーボンオフセットの見える化〉

カーボンオフセットクレジットを付与したラベルを商品に貼付し(もしくはラベルを印刷)、ラベルに記載したURL、QRコードから『カーボンオフセット問合せシステム』のサイトにアクセスして、カーボンオフセットクレジットに使用した国内クレジットの排出削減事業の内容を閲覧できます。



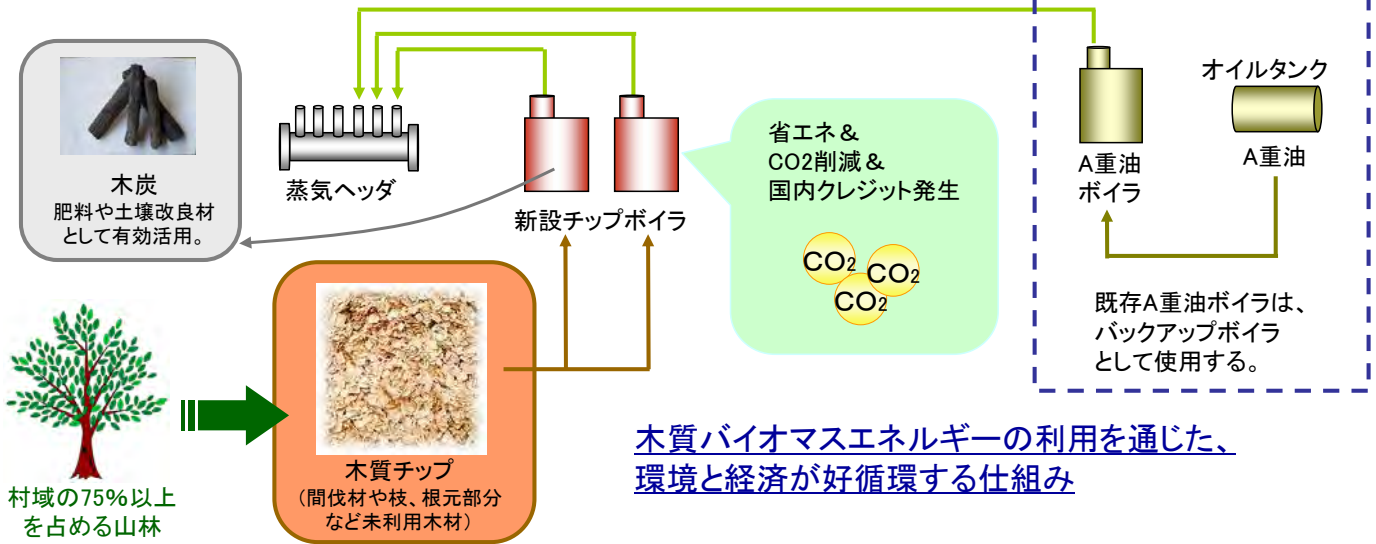
カーボンオフセット事例紹介① 社会福祉法人いいたて福祉会

社会福祉法人いいたて福祉会における バイオマスボイラ利用による省エネルギープロジェクト

バイオマスボイラを新設し、ボイラのA重油の使用を減らし、CO2を削減する



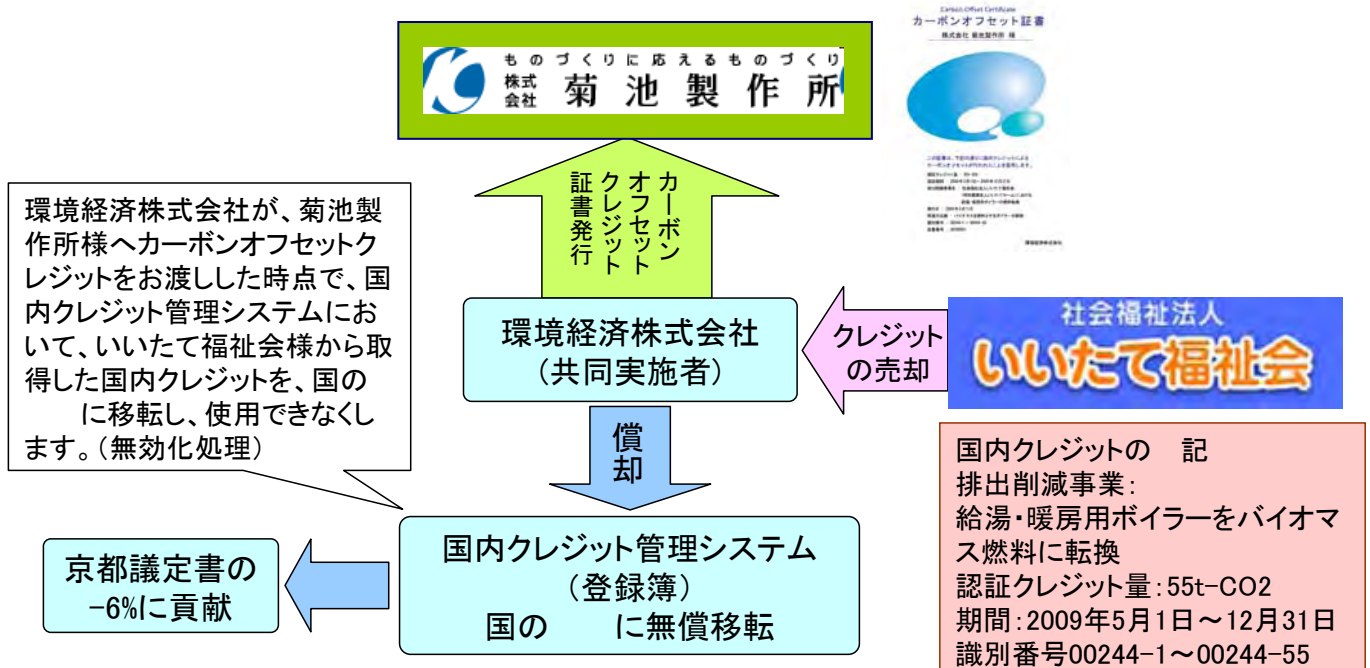
＜プロジェクト概要＞福祉施設の給湯・浴槽昇温・床暖房等熱源をA重油ボイラから木質チップボイラに転換することにより、燃料コストの削減とCO2排出量削減を図る。



カーボンオフセット事例紹介① 社会福祉法人いいたて福祉会

社会福祉法人いいたて福祉会 国内クレジットを活用したカーボンオフセット

いいたて福祉会様が取り組まれたCO2削減事業で認証された国内クレジットを、同じ村内にある株式会社菊池製作所様の企業活動で排出されるCO2のオフセットに利用します。



河北新報のニュースサイト・コルネット

福島の記事

削減したCO2排出量 東京の企業に売却 福島・飯館村



カーボンオフセット契約を結んだ菊池社長(左)と菅野村長

福島県飯館村が運営する社会福祉法人「いいたて福祉会」(理事長・菅野典雄村長)は12日、村福祉施設が削減した二酸化炭素(CO2)排出量を、東京に本社のある製造業、菊池製作所(菊池功社長)に買い取ってもらう「カーボンオフセット契約」を結んだ。

カーボンオフセット契約は、温室効果ガスの国内排出量取引の一種。自治体と一般企業による契約は県内初という。

村は昨年5月、福祉施設の暖房に木質チップボイラーを導入。重油使用量を減らして12月までの8カ月間でCO2排出量を約110トン削減した。

菊池製作所はその削減量を1トン当たり3000円で購入。同社の排出量を相殺(オフセット)する。村には、国からのボイラー設置の補助金分を差し引いた16万5000円が支払われる。2011年3月まで、排出量に合わせて同様の取引が行われる予定。

菊池製作所は金型設計や金属・プラスチック製品の生産を行っており、1984年に村に工場を建設した。菊池社長は「村の環境対策に貢献できてうれしい」と話している。

2010年05月13日 木曜日

Copyright © The Kahoku Shimpō

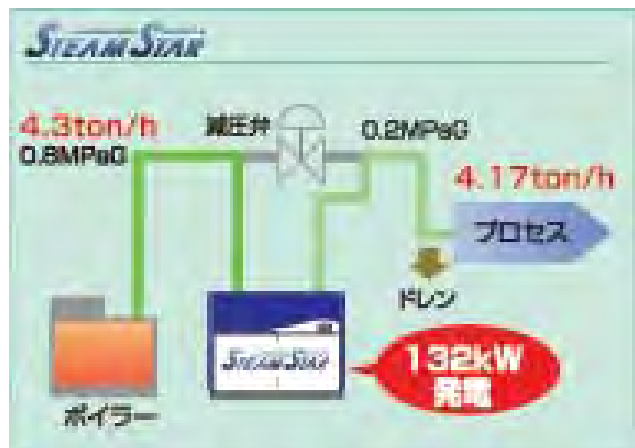
カーボンオフセット事例紹介② 三光株式会社

三光株式会社様における国内クレジット制度の排出削減事業

小型蒸気発電機による排出削減事業

認証されたクレジット 211t-CO2(2009年1月13日から12月31日)

ボイラーから生じる余剰蒸気を小型蒸気発電機に投入、発電し買電量を削減により、事業所のCO2排出量を削減する。



スクリー式小型蒸気発電機
(神戸製鋼所製スチームスター)



- ◆設備投資額
30,000千円
- ◆電力削減量
839,000kWh/年

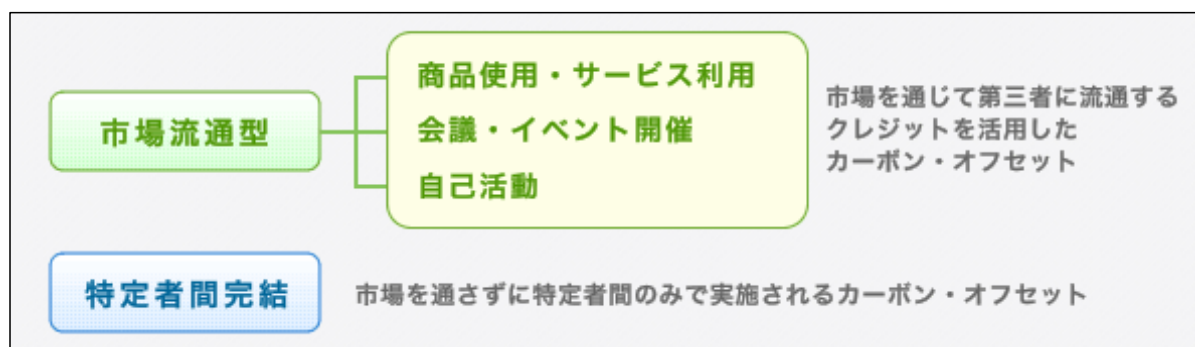
本事業では、従来登録された削減方法論が適用できず、新規削減方法論を神鋼商事(株)、(株)ファーストエスコの協力を得ながら、削減方法論の申請、承認を受けました。

ソフト支援の担当:(株)ファーストエスコ関西事業所
技術支援:神鋼商事(株)

カーボンオフセットの実績

年	排出削減事業者	オフセット先	都道府県	トン数	目的他
2010	三光株式会社	安来市他	島根県	211	自治体のオフセット
2010	いいたて福社会	菊池製作所	福島県	55	事業所のオフセット
2010	福岡ソフトバンクマーケティング	青果加工会社	三重県	50	青果のカーボンフットプリント分をオフセット
2011	巴協栄リネン	中小企業10社	大阪府	105	事業所のオフセット
2011	三光株式会社	鳥取県	鳥取県	205	自治体のオフセット
2011	いいたて福社会	菊池製作所	福島県	287	事業所のオフセット
2011	内之浦福社会	緑の感謝祭	鹿児島県	7	イベントのオフセット
2011	内之浦福社会	地球環境を守るかごしま県民運動総会及び大会	鹿児島県	3	イベントのオフセット
2012	ホテル朱鷺メッセ	総合建設業	新潟県	100	新潟県内の建設工事
2012	社会福祉法人しただ	総合建設業	新潟県	100	新潟県内の建設工事
2012	アイエス総合開発	陸運業	富山県	51	関連会社のオフセット

参考：カーボンオフセットの類型① 環境省資料より



◆市場流通型

■商品使用・サービス利用オフセット

市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等が商品を製造・使用・廃棄したり、サービスを利用したりする際に排出される温室効果ガス排出量について、当該商品・サービスと併せてクレジットを購入することでオフセットするもの。

■会議・イベント開催オフセット

国際会議やコンサート、スポーツ大会等の開催に伴って排出される温室効果ガス排出量をオフセットするもの。

会議・イベント開催オフセットについては、その企画内容によって、商品・サービスオフセットに近いものと、自己活動に近いもの、双方があります。

■自己活動オフセット

市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等が、自らの活動に伴って排出される温室効果ガス排出量をオフセットするもの。

*別の場所での削減・吸収量(クレジット)の例：京都メカニズム制度から生じるクレジット(CER等)、国内クレジットなど

◆特定者間完結型

オフセットの対象となる活動から生じる排出量を、市場を通じてクレジットを購入することではなく、別途に排出削減・吸収活動を行ったり、別途の排出削減・吸収活動から直接クレジットを購入することによりオフセットするような取組。

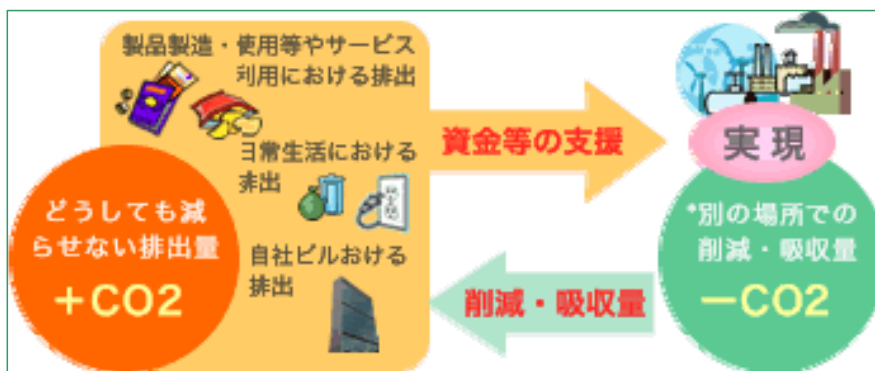
商品使用・サービス利用オフセット



自己活動オフセット



特定者間完結型



お問合せ先

環境経済株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋1-8-13 花月ビル2F

電話 03-6228-6850 FAX 03-6228-6852

メールアドレス：cre-jcdm@kankyo-keizai.jp